



### ③ 地域環境の保全

社外ステークホルダーのご意見  
 環境を壊さないような発電所づくりに  
 取り組んでもらいたい  
 P.29 設備形成における  
 環境への配慮

## 1. 設備形成における環境への配慮

電力設備形成時には、設備や地域の特性に応じた適切な環境アセスメントの実施等により、環境配慮を図るとともに、周辺環境との調和に努めています。

### 環境アセスメント(環境影響評価)の実施

発電所などの建設にあたっては、環境影響評価法等に基づき、その周辺環境の保全を図るため、自然環境(大気、水質、生物)等の調査を行い、建設や運用が周辺環境に及ぼす影響を事前に予測・評価し、その結果に基づいて環境保全のための適切な措置を講じています。

#### 【大岳発電所更新計画に係る環境アセスメント】.....

国内初の事業用地熱発電所である大岳発電所(大分県玖珠郡九重町)の老朽化を踏まえ、発電設備の更新計画(出力:12,500kW→14,500kW)に伴い環境影響評価法等に基づき2013年から実施してきた環境アセスメント手続きを、2016年7月に完了しました。植物調査の結果、発電所建設工事範囲内で確認された、ヒゴタイやアソコギリソウなどの希少な植物については、専門家に相談のうえ、工事前に移植を行うなど適切な環境保全対策を行います。



完成予想図



ヒゴタイ



アソコギリソウ

#### 【新知名発電所7号機増設計画に係る環境アセスメント】.....

当社では、法や条例の適用とならない小規模な発電設備についても、地域の環境保全の観点から自主的に環境アセスメントを実施しています。

鹿児島県沖永良部島で発電を行っている新知名発電所(大島郡知名町)の、7号機の増設計画(出力:4,500kW、2019年6月運転開始予定)に伴い環境アセスメントを実施しました。動物調査の結果、確認されたオカヤドカリ(国指定天然記念物)については、専門家に相談のうえ適切な環境保全対策を行います。



動物調査の様子



オカヤドカリ



詳細は [九州電力](#)  
 > 関連・詳細情報(P2参照)  
 > 環境アセスメントの手続き

#### 用語集をご覧ください

- 環境アセスメント  
(環境影響評価)
- 環境影響評価法